

## 笑顔かがやく 教育のまち しらおい



安藤尚志教育長

## 教育行政執行方針

人口減少や少子高齢化の進行、グローバル化、超スマート社会の実現に向けた技術の革新、誰一人取り残さない社会の実現を目指す「持続可能な開発目標（SDGs）」の推進等、社会は変化し続けており、未来はこれまで以上に予測困難なものになってきました。

そのため学校教育においては、一人一人の可能性を引き出す個別最適な学びと協働的な学びを一体として取り組み、「令和の日本型学校教育の構築」を具現化することが、重要な課題となっております。

また、生涯学習においては、「いつでも・どこでも・誰でも」生涯にわたって学び続ける環境の整備が課題となっております。

これらの課題を解決するために、「地域とともにある学校づくり」と「学校を核とした地域づくり」を一体的に推進し、

地域学校協働活動の充実を通して子供たちの学びや成長を支えるとともに、地域住民のつながりを深め、自立した地域社会の基盤の構築に取り組んでまいります。

## 学校教育の充実

●新しい時代に生きる子供たちの豊かな成長を支え育む

～豊かな学力の育成～

「第4期白老町スタンダード（白老の底力）」の3つの重点により、児童生徒が主体的にかかわる学習活動の定着を推進します。さらに、標準学力調査、漢字検定・英語検定の対象学年や受検項目を見直し、子供たちの学習機会を拡充します。また、情報活用能力の育成については、ICT機器の効果的な活用や、家庭における望ましい電子メディアの利活用の取り組みと関連させながら連携強化を図ります。

～豊かな心の育成～

いじめについては、あらゆる教育活動を通して「いじめはどんな理由があってもいけない」ことへの理解を深めます。不登校については、学校の組織的対応を推進するため、将来の社会的自立に向けて、子供を取り巻く環境の改善を図ります。

～健やかな体の育成～

各学校の体力向上プランに基づき、一

校一実践の取り組みや体育の授業の充実を図ります。

食育の推進については、地場産物を活用し、ふるさとへの愛着を育み、食への興味・関心を高めます。また、保護者へ負担軽減などの状況を踏まえながら、給食費の単価改定検討や無償化の充実に取り組めます。

～特別支援教育の充実～

北海道教育委員会の「特別支援教育に関する基本方針」に基づき、多様な学びの場の充実や切れ目のない一貫した指導と支援、教員の専門性の向上を図ります。

●地域に信頼され、地域とともにある学校づくり

～ふるさと教育の充実～

白老未来学に基づき、地域の自然や文化・歴史を大切にしながら、ふるさとへの愛着をもち続ける子供の育成に向けた教育活動の展開や、ふれあいふるさとDayなどの実施を通して学びに向かう力や郷土を愛する心などを育みます。

～地域とともに育つ学校づくり～

各中学校区の学校運営協議会と地域学校協働活動の活性化を目指すとともに、小中一貫教育、小中連携教育については、スタートカリキュラムによる継続的な取組や白老町教育研究会の充実を図ります。

～安全・安心の保障～

白老寺子屋やデジタルサマーキャンプの開催など、児童生徒の様々な学習機会を保障し、学習意欲の向上を図ります。